

コチラから
バックナンバーが
閲覧できます



T様ご家族と設計担当の友坂(プランを見て改装後の変化が楽しみでしたとご主人)

隣地購入をきっかけに

お隣の土地が売りに出され、陽当たりが悪くなってしまうのではないかと不安になり、思い切って購入しました。この土地の活用と増築、耐震断熱、そして1階でいちばん陽当たりの良い和室が空き部屋となっているのがもったいなく感じていたので、この和室空間も有効的に活用できたらいいなと思い、内装もリフォームすることにしました。

開放的な木の使い方をする会社だと感じた優さんに相談し、1階のLDKの位置をまったく違う場所へ移動するプランがとても気に入りました。増築については、建築確認申請というものが必要となること、また、うちの地域は防火や準防火地域ではないので10m未満までは申請が不要となることなどもアドバイスをもらい、大きな増築はせず、申請不要のメリットを取り、庭は憧れの家庭菜園にすることにしました。



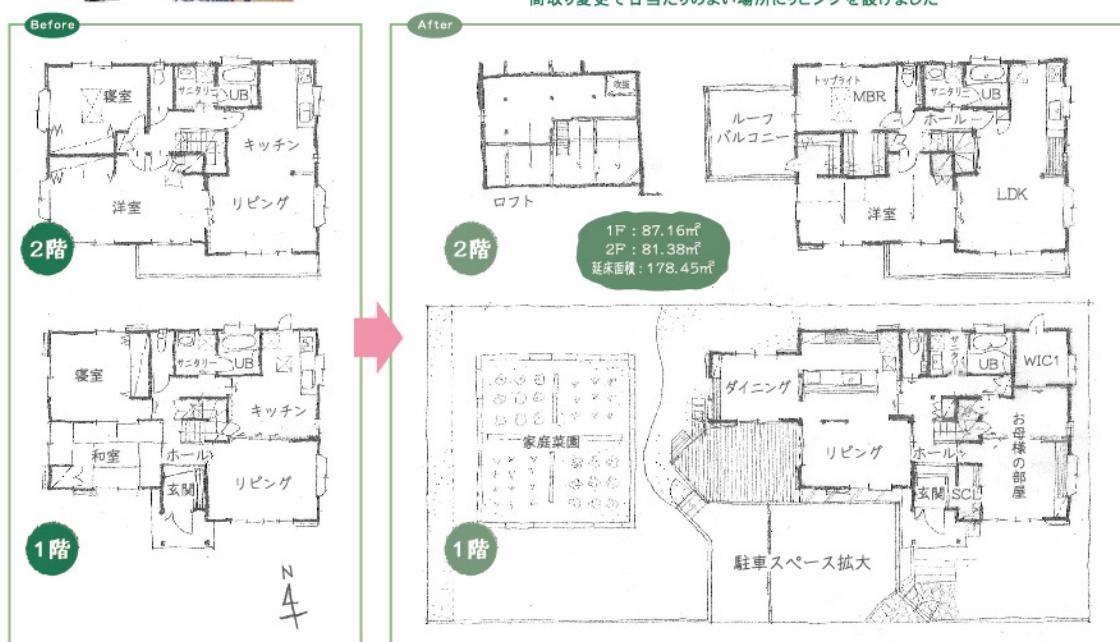
優建築工房 お宅訪問

一言芳恩

一言芳恩（いちごんほうおん）：あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに・・・
元から2世帯
伊勢原市T様邸 隣地購入による増築&リフォーム
より良い住環境を求めて住まい方を見直すリフォーム



間取り変更で日当たりのよい場所にリビングを設けました



1階のキッチン



お母様のお部屋



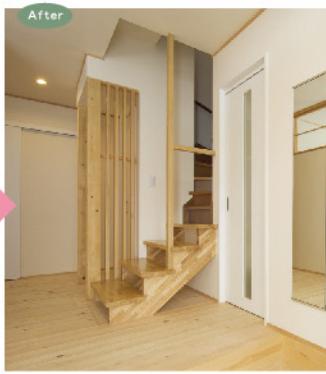
出窓は二重サッシで断熱対策

のんびりゆったり日向ぼっこ～お母様の過ごし方～

「朝みんなが出かけて一人になると、増築したダイニングで日向ぼっこしながら、のんびり過ごす。暖かくてとても気持ちがいいのよ。」とお母様。以前1階のLDKだった場所がお母様のお部屋に。リビングの出窓部分は二重サッシにして断熱効果をプラスしました。生活動線を考え、玄関からすぐの所とトイレやお風呂場の近くの2か所に出入口を設けました。ご家族がお休みの日の晩御飯はお母様が腕を振るい、みんなで集まって過ごすそうです。



以前から広さのある玄関ホール



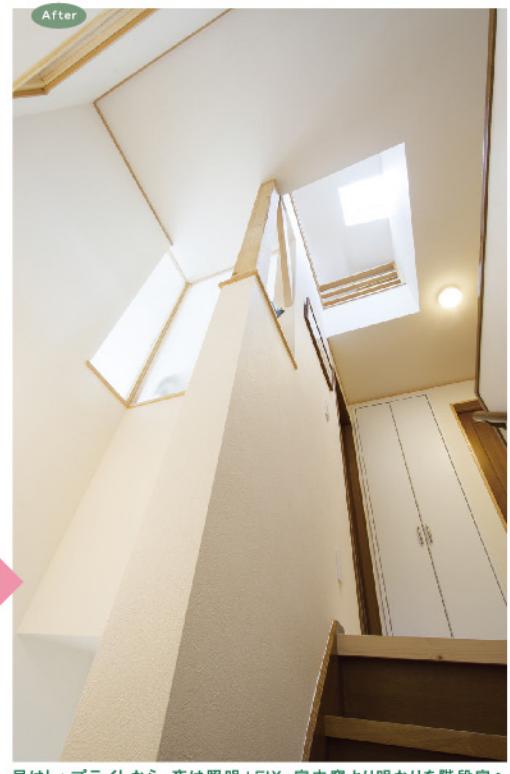
一部壁から格子へ。天井を壊し吹抜けを広くして採光を。SCLも増設

一緒に考えたライトウェル計画

トップライトが活かしきれず暗い印象だった階段室。解体後の様子を見たご主人と建築にご興味のあるお嬢様から、もっと明るくしたい。と、更なるご要望を取り入れ、一緒に考えて作りました。トップライトからの光を遮る天井部分を解体し、ホールに出る階段部分の壁も一部撤去し格子にしました。反射効果のある白系の壁紙に替え、2F踊り場周りにもFIX窓と室内窓を設け、より明るさを追求しました。



リフォーム前の階段室



星はトップライトから、夜は照明+FIX・室内窓より明かりを階段室へ落とすライトウェル計画(ライトウェル=光の井戸)



休みの度に工事の進み具合を朝晩と見に行きましたが、大工さんは嫌な顔せず「ケガすんなよ～」とか言ってくれて、とても親しみやすかったです。この工事をきっかけに次女は建築の道を目指すことになって、現在、勉強中です。



デッキチェアを倒して寝転ぶと周りの家や電線まで見えなくなる。星を眺めながらのビールがいつも楽しみ！

2F改造計画

子供部屋の天井は勾配天井へ変え、天井裏へ断熱材を充填し暑さ対策を施しました。出て来た梁も意匠性のある現しに。小屋裏収納はロフトへとチャンジし部屋全体を開放的に。増築部の上はルーフバルコニーを設け、フェンスの高さは周囲からの目線が気にならない高さに調整しました。

能工巧匠

うちの腕利きの職人さんを紹介



座敷童で有名な岩手県の金田一温泉の近くが出身。趣味は4駆でオフロードを走ること。



大工：細沼 真さん

高校の建築科を卒業後、ハウスメーカーへ大工として入社し、その後この師匠につき4年ほど修行をしました。メーカーの工事は短期完工が鉄則。そのため今と時代が違い、連日夜中までの作業が続き、休みもとれない時期があり、体を壊してしまいました。復帰後、決められた同じ家を組み立てる家づくりが流れ作業のようで、やりがいがなく達成感もないと思ふようになってしまったのです。そんな時に、今、優さんで大工をしている元同僚だった霜島さんの手伝いを日々するようになり、毎回、お客様の思い入れを感じて造る家づくりを体験し、こういう仕事がやりたいと思い独立しました。優さんに入り、仕事の重みと達成感を味わうようになり、先輩大工の向川さんの仕事を見て、経験を積んだ人にしかできない技術や伝統の技があり、それが自分に必要だと感じました。機会がある度に向川さん達の仕事を見て習い、必要な時に引出せるように頭の片隅に残しています。今、完成する度に施工事例やお知らせを自己紹介しています。フォローお願いします。

Instagram
Follow us!



YUKOBO_HANADAWA



ホームタグをスキャンしてね

yukobo_kanagawa

施工事例やお知らせを自己紹介しています。フォローお願いします。

優建築工房の 環境配慮型設計

小さなエコノミーから
大きなエコロジーへ

環境配慮型設計の住宅の実例紹介

～環境配慮型設計の住宅の住まい方 夏編～

前回と前回に引きつづき、環境配慮型設計の住宅の実例をご紹介いたします。当社のホームページに『環境配慮型設計の新築住宅』と

紹介されている実例を、特に季節ごとの住まい方に着目してご説明したいと思います。今回は夏の冷房時期の住まい方です。

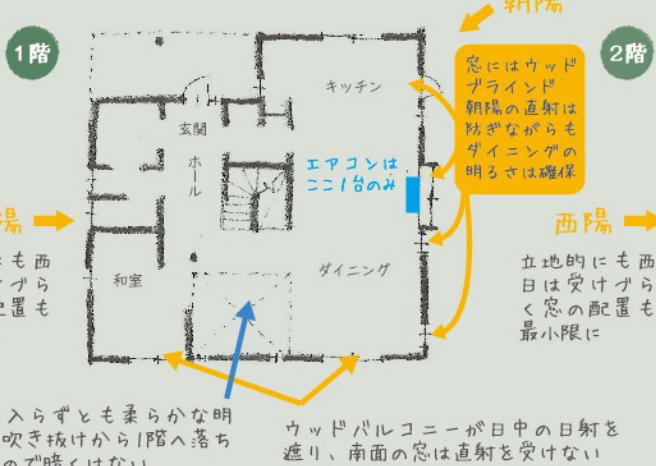
この家の特徴

- ◇南面の深い軒先が夏の高い傾斜角度の日射を遮り、2階の窓からの熱取得を制限
- ◇エアコンは1階のダイニングに1台のみ
- ◇同じく南面のウッドバルコニーが1階の窓からの熱取得を制限
- ◇屋根面は厚さ18cmのセルロースファイバーで高断熱化
- ◇開口部には樹脂サッシ+LOW-Eガラスの窓を採用
- ◇朝日の直射を受ける東面は日射をコントロールするウッドブラインドを設置
- ◇室内暖気を効率よく排出する開閉式トップライトと両妻面にハイサイド窓の設置
- ◇シーリングファンと窓の開閉により冷気を家中に循環

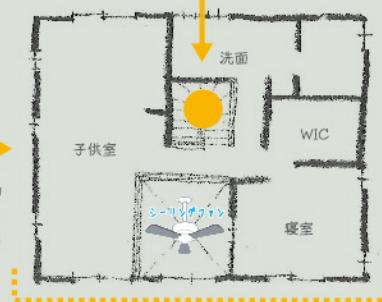
※現在は2階の子供室で家族4人が就寝。エアコンを使わず、窓を開け、扇風機で空気を動かすことでも快適に眠れます。



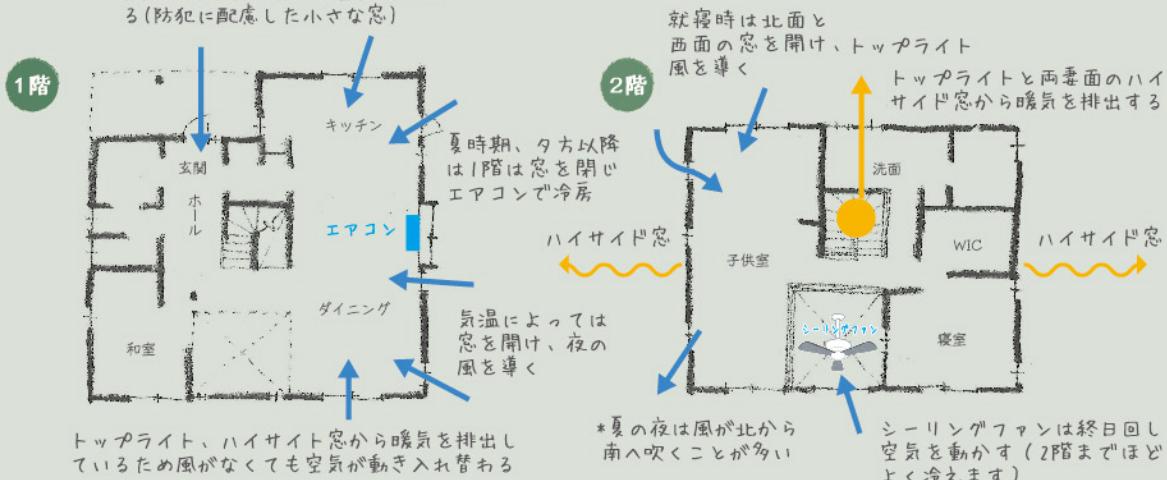
昼



トップライトは屋根の北面に配置し、直射を室内に導かない配慮をしています



夜





優建築工房ならではのディティールへの追求。流行に左右されない、耐震・耐久・メンテナンス性に対する堅実的な施工方法。そして、同じ色や素材を使っても何かちょっと装いが違ってくる。その雰囲気の差、また価格の差の違い。そんな私達の根底にある設計・施工法の考え方をお伝えするコーナーです。

優建築工房の断熱施工へのこだわり～高性能グラスウールの施工品質～

近年の住宅は、国の施策もあって省エネ化が進んでいます。なかでも断熱材の性能は飛躍的に向上し、施工方法も確立していますが、施工精度によっては期待したほどの効果が得られないこともあります。特にリフォームでは施工品質による効果の差が大きく、断熱範囲や気流止めの計画などによって後の快適さに大きな差が生まれます。優建築工房では、建物の構造やリフォーム内容によって様々な断熱材と断熱工法を使い分けていますが、今回は木造住宅で最も多く採用する高性能グラスウールの施工品質へのこだわりを紹介したいと思います。



① 断熱材は、各所共隙間なく均一に充填することが大切です。当たり前だと思われるでしょうが、実は簡単ではありません。壁内には筋違いなどの構造体や下地木材、配管や配線などの障害物もありますので、取扱には丁寧な仕事が求められます。計画段階で、各所の寸法に断熱材の厚さを考慮しておくことも重要です。

② 断熱材は、家全体または対象の部屋全体を、途切れ目無くすっぽり覆うことが大切です。床、壁、天井などの接点に隙間が生じないように連続させなければなりません。

③ 高性能グラスウールは、性能の高い防湿フィルムが用いられている資材を採用しています。このフィルムが、温かく湿度の高い空気が壁内への浸入するのを防ぐので、断熱材の充填時にはフィルムの施工にも注力しています。この施工が不十分な場合、断熱性能が低下し、壁内結露などの湿害が建物に及ぶこともあります。



優café

優caféは、ご来訪いただきお客様へのお茶のご提供の総称です

理想のお家づくりのため、色々選ぶのは楽しいけれど、とっても疲れるものです。そんな時にカフェのドリンクとデザートでリフレッシュしていただけたら嬉しいです。ドリンクメニューも色々と揃えています。



PRESENT

優しいパイン材のハンドメイド
ハイスツールです。
キッチンでひと休みのときや
カウンターチェアとしても
活用できます。

size
幅 : 35cm
奥行き : 35cm
高さ : 60cm
座面 : 直径29cm



天然木のハイスツール
3名様へプレゼント

【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望(必須)
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。
応募〆切 5/6(水) ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

メール	nakamura@yukobo.jp	メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください
ハガキ	〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8	優建築工房 yukoboletter プレゼント係
FAX	046-294-4561	TEL ☎ 0120-873-312